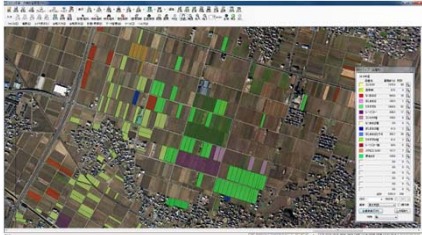


圃場生産の「みえる化」 お手伝いします！

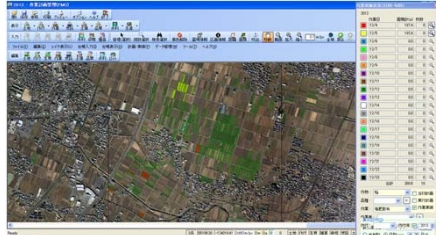
～ 農研機構における多圃場営農管理の展開 ～

「作業計画・管理支援システム(PMS)」は電子圃場地図上で農地や作付、農作業などの圃場生産に関わる色々な情報管理をお手伝いします！
入力されたデータは色々な視点から圃場ごとに色分け表示され一目で状況を確認できるようになります。



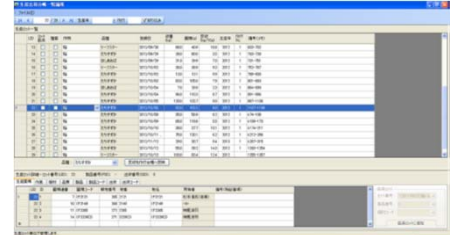
作付配置図

「作付台帳」に登録されたイネの品種を圃場ごとに色分け表示しています。



作業進捗図

「栽培作業台帳」に登録されたイネの堆肥散布作業実施状況を圃場・日ごとに表示しています。



生産出荷管理画面

飼料イネを収穫して生成されたロールペールを登録して個数・番号管理しています。

このほか、水利、土壌成分、雑草、作物品質などを管理できます。もちろん、帳票出力にも対応しています。

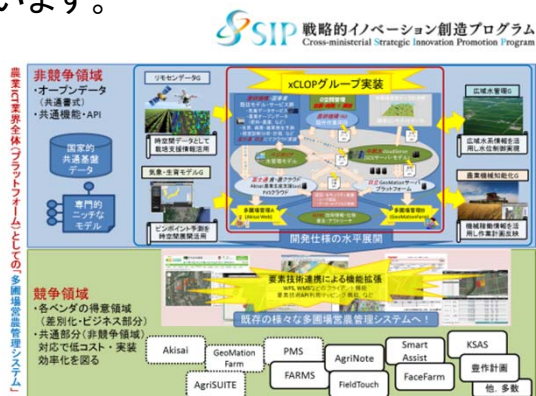
※ このポスター内の画面写真は三重県内の農業生産法人様で実際に運用されているもので、許可を得てここに掲載しています。

現在、PMSをはじめとする複数の「多圃場営農管理」と呼ばれるソフトやサービスが利用可能です。

農研機構では、国のIT総合戦略(農業情報の創成と流通を促進する!)に沿って、

- 複数の多圃場営農管理システム間での情報交換・流通を可能とするデータ交換方式
- 上記の発展形である、多圃場営農管理システムで取り扱うさまざまな圃場生産に関わる情報を一元管理できるようにするための情報プラットフォーム(農業情報流通基盤)

の開発を進めています。



「作業計画・管理支援システム(PMS)」は、**無償配布可能なソフトウェア**として開発され、以下の情報公開Webサイトから入手できます。



<http://www.aginfo.jp/PMS/>

